

令和2年度 第1学期 終業式 式辞

例年と違い5月からスタートした1学期も今日で終わりです。

歴史は繰り返すといわれますが、少なくとも自然現象に目をやると、その繰り返しの中の大変な部分と皆さんの人生が重なっています。

一つは気候変動による、環境の急激な変化です。振り返ると、私は本校の1学期の終業式でこのことを過去4年間、毎年、皆さんに伝えてきました。日本中の雨の降り方が変わってきている。もう変化ではなく、通常のことになってしまいました、川の氾濫も土砂崩れも。雨の降る時期にはこのようなことを見越して、生活や行動をしていくということが求められるようになりました。

もう一つは感染症。今、人類は新型コロナウイルスと戦っています。有史以来、人類は感染症と闘い続けてきました。ワクチンや抵抗する薬で抑えているものの、多くのウイルスに勝っていません。過去に出現したウイルスはこの地球のどこかに存在し続けており、先程の気候変動と同様に我々は生活様式に注意を払うという手段を使って、付き合っていかなければなりません。

実はこの2つに隠されている事実があります。このことは、なぜか報道にもあまり取り上げられないので、今から話します。それは、この2つの脅威に対応することによる日本経済への深刻な影響です。今後、長期的な対応を迫られていく以上、気候変動に対しても感染症に対しても想像できないくらい費用を要することになります。それらを国民が納める税金で対応していくことになるのですが、それらに使うお金を考えると、今皆さんが行っている普通の暮らしの質を落とさなければならない可能性があります。

具体的にいうと、今、流通が滞り貿易が難しくなっています。そうすると加工貿易国である日本の企業の利益は減っていき、皆さんの働く場所が減ったり、なくなったり、労働者の賃金が少なくなる、つまり給料が減ることになります。その上に、環境を改善したり、感染症対策のための費用として多額の税金を必要とするため、大きな額の税金を国民から徴収しなければならなくなるということです。

すでにその影響は出ています。

この面から、本校の状況を報告すると、幸いなことに企業より例年並みの求人票をいただいております、これまで先輩方がつけてきたレベルの力で挑戦すれば、合格する可能性は極めて高いといえます。就職希望者は少なくとも「努力すれば」のはなしですが、確実に働く場所を手にすることができる状況にあります。進学に関しても大きな影響はあっていませんが、進学先について行ける力をつけておかなければ、卒業後の就職は難しくなります。私のこれまでの経験でいうと、どんな不況が来ようと、在学期間勉強をしっかりとやった人、人間性を高めた人は、高校生でも大学生でも必ず目指す企業に入れています。

ここで、学年別に、少し具体的に話をします。

まず、3年生、特に就職希望者は進路決定の大事な最後の準備期間です。私が見る限り、優良企業の求人票もかなり来ています。このような企業の受験機会があるということは、またとないチャンスです。特に入社試験は中学校までの学習内容もかなりです。十分に復習をして準備をしてください。将来を見据えて受験先を決めることは勿論ですが、どの企業も研ぎ澄まされた学力とは違って、基礎的学力と人柄を総合的に見ますから、各企業に対応した学習と、面接練習を行ってください。わずか10分間の面接でも希望する会社から「この人なら間違いない」と思われる品格（言葉遣いや所作）を身につけてください。学力と人間性の両方がそろってないと企業は採用しません。極端に言えば、学力試験がトップであっても、面接の評価が低ければ不採用、面接がトップであっても学力が基準に達していなければ不採用となります。両方が基準以上であることが条件です。

次に進学。進学希望の皆さんは、どうか希望する進学先に入学後、ついて行ける学力をつけることを目標にこの夏休みに勉強してください。専門学校志望の人は入学後、ものすごいスピードでカリキュラムが進み、必要な資格取得に向けた密度の高い学習が連続します。さらに大学では4年間にわたり、担任のいない自己管理の中で、高校とは比較にならないほどの高度な学びが容赦なく求められます。夏休みの一日一日をどう自己管理するかが、成功へのポイントとなります。この暑い夏、健康に留意しながら、最高の人生を勝ち取るために、全力で勉強してください。

2年生。皆さんは生徒としてベテランの域に入っています。小学校から数えると10年を超える勉強や学校生活のベテランです。小中学生や本校1年生の見本であることは勿論ですが、そろそろ自分の将来を考えるときです。どうでしょう、身近な本校3年生の動向を観察したり、年齢が上の方々との交流、それができない人は担任や顧問の先生方との会話を通して自分になりたいもの、やりたいことを見つけてください。多くのことを直接見たり、聞いたり、社会人と直接交流したりすることによって、情報を得ることが重要です。その中で自分の生きていく道の入口を見つけてください。この夏休みはそのチャンスです。

1年生には、「良い人生は、早くからの良い準備から始まる」という言葉を伝えておきましょう。進学・就職は遙か彼方ではありません、直ぐにやってきます。それも予想よりびっくりするくらい早くやってきます。夏休みの期間を活用して身近な方々に大学や専門学校、企業における仕事のことをよく聞いて、将来進むべき方向をしっかりと見定め、2年後に最高の進路実現ができるための準備期間としてください。

そして、生徒全員に共通してほしいことは、様々な活動を通して、コミュニケーション力などの人間性を磨くことも重要です。今は感染症対策で難しくなっていますが、可能になればボランティアや地域活動などを通じて、幅広い年代と交流したり、体験談・経験談を聞かさせていただくことがその近道です。交流の際、対人関係が苦手な人は、相手からされる挨拶に返すのではなく、「自分から行う挨拶」を心がけてください。勇気を持って行動することによって、自分を変え、成長させることができます。

例年より短い夏休み、あっという間に過ぎます。しっかりと計画を立てて、積極的に行動する貴重な機会として有効に活用してください。また、事件や事故などに遭わないように、十分に気をつけて行動し、充実した夏休み生活を過ごしてください。8月21日には、元気な姿で、それぞれが『成長』という大きな収穫を持って、全員で2学期を迎えたいと思います。

以上で令和2年度一学期終業式の式辞とします。

令和2年8月7日

福岡県立若松高等学校長 小山 繁